

令和3年度指定管理者評価調書

施設所管課	福祉部福祉課	評価者職氏名	課長 千葉 訓裕	評価日	令和4年6月27日
-------	--------	--------	----------	-----	-----------

施設名称	江刺総合コミュニティセンター	施設所在地	奥州市江刺地域
指定管理者名	社会福祉法人 奥州市社会福祉協議会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年間)	新規・継続の別	継続
施設設置目的	文化活動、社会福祉の研修等を行うことにより、障がい者、高齢者等全ての市民の相互理解と交流の活性化を図り、もってノーマライゼーションの理念の普及高揚に資する。	指定管理料の有無	有
施設概要	ホールや会議室の使用等による生涯学習の場となるコミュニティエリアと障がい福祉サービス事業所があるリハビリエリアからなる施設である。	指定管理料の区分	指定管理料+利用料金

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	R2利用実績(人)	R3利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	江刺総合コミュニティセンター	30,021	28,266	15,477	13,368	86.4	
(計)	30,021	28,266	15,477	13,368	86.4		
[利用者の増減理由] ・新型コロナウイルスの感染拡大により、8・9月、1・2月に休館期間があったこと、利用者の定員制限を設けたこと、各種団体が感染症拡大防止のため活動を自粛したことが利用者の減少要因となった。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位:円)	R3年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R3年度決算額		市直営決算(H17年度)			
収入	指定管理料	29,287,000		29,287,000	歳入	使用料	6,156,000	使用料	4,321,600	
	利用料金	922,260		922,260		賃貸料		賃貸料		
	自主事業		75,290	75,290		その他		その他		
	雑収入			0						
	計	30,209,260	75,290	30,284,550		計(A)	6,156,000	計(A)	4,321,600	
	支出	人件費	7,446,933		7,446,933	歳出 ※経常的	指定管理料	29,287,000	人件費	
		需用費	15,001,778		15,001,778		委託料		委託料	27,018,140
		役務費	223,498		223,498		需用費		需用費	
		委託料	6,671,900		6,671,900		その他		その他	
		使用料・賃借料	79,056		79,056		計(B)	29,287,000	計(B)	27,018,140
租税公課		837,200		837,200	歳出 ※臨時的	支出(B-A)		23,131,000	支出(B-A)	22,696,540
その他諸費		24,185		24,185		維持修繕費		維持修繕費		
						備品購入費		備品購入費		
計		30,284,550	0	30,284,550		計(C)	0	計(C)	0	
損益		△ 75,290	75,290	0		支出(B+C-A)		23,131,000	支出(B+C-A)	22,696,540
職員配置	常勤職員	1.2 人			市の正職員		0 人			
	非常勤職員	0 人			市の臨時・非常勤職員		0 人			

利用料金実績 (単位:円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額
	4,004,030	3,081,770	922,260

指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出	24.6 %	R3年度指定管理者損益	0 円	3
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数	2,190.8 円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	

行革効果	[指定管理による行革効果]	[行革効果額] △ 434,460 円			4
	市直営時(H17)と比較すると消費税率の変化に伴い需用費や委託料が上がっていることから単純に直営時との比較は難しい。前年度と比較すると効果は得られている。また、施設の老朽化による維持修繕費により、全体的な支出額がその年によって増減する状況に変わりはない。	[行革効果額の積算根拠]			
			R3	R2	比較
		直営支出額	22,696,540	22,696,540	0
市支出額	23,131,000	23,518,000	△ 387,000		
効果額	△ 434,460	△ 821,460	387,000		

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	【内容確認】 ・施設の使用許可等に関する業務 ・施設の使用に係る使用料金の徴収に関する業務 ・施設の維持管理に関する業務	○		3
自主事業	【内容確認】 ・福祉関係団体の活動支援	○	・ヒロノ福祉パーク祭の実施 →新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止	

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	【以下、内容確認】 火災警報器の更新や利用者の利便性の確保に努めた。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	東北電気保安協会岩手県事業本部に委託し、月次点検（需要施設2ヵ月1回）、年次点検、臨時点検を実施した。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	江刺衛生会に委託し、日常清掃、全館清掃（週1回）、定期清掃（月1回）、特別清掃（年2回）を実施した。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	節水・節電を積極的に行い、経費の節減に努めた。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	施設所有管理者賠償責任保険（あいおいニッセイ同和損害保険株式会社）に加入し、補償体制をとった。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	江刺総業へ委託し年4回の作業実施した。中庭や垣根等は、江刺衛生会へ依頼し、定期的に整備を行った。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	条例に従い、利用者に対し使用許可・減免等を適切に行った。コロナによる中止については、利用料金を返金した。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	ホームページや広報誌に掲載し、利用周知を図った。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	速やかな受付及び貸出に努めた。条例に定めのない物品は本会の物品を無料で貸出しするなどし、利用者の利便性向上に努めた。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	本会の苦情解決規定により、苦情受付体制を整備した。即時対応が可能な件についてはその場で対応を図った。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	ヒロノ福祉パークまつりが中止となった。	新型コロナウイルスの感染拡大防止のためやむを得ず中止した。	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	市への定期報告（月1回）を行った。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	市個人情報保護条例、奥州市社会福祉協議会個人情報保護規定に基づき対応した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	岩手信号防災に委託し、機器点検（年1回）、総合点検（年1回）を実施した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	ALSOK岩手へ委託し、外部侵入の監視と異常発生に対応する環境を整備した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	対応マニュアルを作成し、体制を確保した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	対応マニュアルを作成し、体制を確保した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	消防計画に従い、年2回避難及び消火訓練を実施した。	○	

5 利用者評価

利用者アンケート	実施の有無	有		評価
	調査内容	施設利用団体に対して、利用の都度アンケートを実施した。		
利用者評価	調査結果	利用報告の都度、アンケート内容を確認し、必要な対応を図った。		3
	要望・苦情等	利用時に 気になった事	<p>【アンケート事由記述内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用再開、検温や除菌シートの準備、ありがとうございました。 ・談話室の電球カバーが落ちてきました。 ・こどものくいの入口の蛍光灯が2ヶ所点灯していません。(2件) ・こどものくいの入口の蛍光灯カバーが落ちてきました。 ・ホールの温度設定がちょうど良かったです。(2件) ・ホールのロールスクリーンのチェーンが切れていました。 ・ホールのスクリーン、迅速な対応ありがとうございました。 ・ホールの電灯が点いたり消えたりしています。 ・ゴミ箱の裏に蜘蛛がいました。 ・カーテンフックが壊れています。 ・視聴覚室のローラー、1ヶ所が傾いていたので、点検をお願いします。 ・寒い中外で待っている方がいたので、早く開場いただきありがとうございます。 ・いつも気持ち良く使用させていただいています。(9件) ・利用許可証、減免通知書が届いていませんでした。 	
		苦情・改善 要望等	<p>【アンケート事由記述内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○和室：1件 <ul style="list-style-type: none"> ・夏場の網戸はあるのか、エアコンは直るのか。 ○コミュニティホール：3件 <ul style="list-style-type: none"> ・電球が4灯点灯せず、照明が暗い。 ・曇り空の日には照明の使用も必要と思っているが、費用(利用料金)を考えると悩む。 ・会場が寒かった。 ○視聴覚室：3件 <ul style="list-style-type: none"> ・入口から2つ目のスクリーンを直して欲しい。 ・入口から2番目のブラインドの調子が良くない。斜めになる。 ・エアコンの効きが悪い。26度に設定したが、温風しか出ない。 	

6 総合評価

総合評価	評価区分	評価	総合評価
	1 施設の利用状況	3	
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3		
2 経費等の状況 (行革効果)	4		
3 事業の実施状況	3		
4 業務の実施状況	3		
①施設の維持管理	3		
②サービスの向上	3		
③危機管理対策	3		
5 利用者評価	3		
評価理由	指定管理制度の導入によって、直営時よりは若干の支出はあるが、適切な施設管理が行われていることから行革の効果が上がっていると判断する。		

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	優先度を見極めながら、引続き計画的な施設の更新・補修を行う。	開所からの20年以上経過したことから破損箇所が増え、大規模で7カ所修繕を行い、コロナ対策としてサーマルカメラの設置を行った。	引き続き優先度を見極めながら計画的な更新・補修を行う。

令和3年度指定管理者評価調書

施設所管課	福祉部長寿社会課	評価者職氏名	課長 千田 嘉宏	評価日	令和4年6月23日
-------	----------	--------	----------	-----	-----------

施設名称	水沢高齢者創作館	施設所在地	水沢地域
指定管理者名	奥州市老人クラブ連合会	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日	新規・継続の別	継続
施設設置目的	高齢者の生きがいと創造意欲の高揚	指定管理料の有無	有
施設概要	木工部、陶芸部、手芸部、園芸部、わら細工部	指定管理料の区分	指定管理料のみ

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	R2利用実績(人)	R3利用実績(人)	前年対比(%)	評価	
	水沢高齢者創作館	2,472	2,126	2,156	2,465	114.3		4
(計)	2,472	2,126	2,156	2,465	114.3			
〔利用者の増減理由〕								
令和3年8月・9月に新型コロナウイルスの感染拡大により活動が中止になったため利用者数が減少したが、11月以降新入会員が数名入り、各部の活動が活発になり、参加者数も増加し、全体として令和2年度より多くなった。								

2 経費等の状況

	R3年度指定管理者収支				市の収支						
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R3年度決算額		市直営決算(H17年度)				
事業収支 (単位:円)	収入	指定管理料	2,863,000		2,863,000	歳入	使用料		使用料		
		利用料金			0		賃借料		賃借料		
		自主事業			0		その他		その他		
		雑収入	145,514		145,514		計(A)	0	計(A)	0	
		計	3,008,514	0	3,008,514						
	支出	人件費	1,080,000		1,080,000	歳出 ※経常的	指定管理料	2,863,000	人件費		
		需用費	583,987		583,987		委託料		委託料		
		役務費	82,622		82,622		需用費		需用費		
		委託料			0		その他		負担金	2,995,000	
		使用料・賃借料			0		計(B)	2,863,000	計(B)	2,995,000	
		租税公課			0		支出(B-A)	2,863,000	支出(B-A)	2,995,000	
		その他諸費	1,226,600		1,226,600		歳出 ※臨時的	維持修繕費		維持修繕費	
								備品購入費		備品購入費	
		計	2,973,209	0	2,973,209			計(C)	0	計(C)	0
損益	35,305	0	35,305	支出(B+C-A)	2,863,000	支出(B+C-A)	2,995,000				

職員配置	常勤職員	0 人	市の正職員	0 人
	非常勤職員	1 人	市の臨時・非常勤職員	0 人

利用料金実績 (単位:円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額	
	0	0	0	

指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出	36.3 %	R3年度指定管理者損益	35,305 円	3
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数	1,161.5 円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	

行革効果	〔指定管理による行革効果〕		〔行革効果額〕			132,000 円	3
			〔行革効果額の積算根拠〕				
	指定管理制度を導入することで、人件費の削減に伴う経費面での効果が表れている。 また、相互交流や作品作りによって高齢者の生きがい対策の充実が図られている。			R3	R2	比較	
			直営支出額	2,995,000	2,995,000		0
			市支出額	2,863,000	2,863,000		0
効果額			132,000	132,000		0	

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	高齢者の生きがいと健康づくり事業の実施	○		3
自主事業				

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	施設全体が老朽化しているため、早めの修繕を行い、経費削減に努めている。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者（電気・ガス等）による定期点検が行われている。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	清掃分担を再確認し、計画にそって、部員が自主的に責任感を持ち清掃がなされている。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	水回り関係の経年劣化による漏水について、各部に周知を図り、注意して使用している。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	市が建物共済保険を付保する。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	施設周辺の雑草等の駆除を各部で行い、整備に努めている。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	水沢高齢者創作館条例に則り、適切に対応している。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	市老人クラブ連合会の会報や社会福祉協議会の福祉だより等を活用し宣伝に努めている。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	パンフレットの作成やイベントへの参加により、利用促進に当たっている。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	会員との交流を図り、会員の意思を尊重しながら対応している。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	新型コロナウイルスによりイベント等はあまり開催できず。しかし3月の趣味創作展は活動意欲の向上につながった。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	日誌、月毎活動報告書によって定期報告を行っている。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報の適切な保護に努めている。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	定期点検（電気・ガス等）が実施されている。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	創作館のきまりを遵守し、講習を実施して、事故防止及び安全確保に努めている。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	連絡網を作成し、関係機関への連絡、対応が適切に行われるように努めている。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、避難について確認している。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	11月に避難訓練を実施した。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	3
		調査内容	1 会員経過年数について 2 活動の成就感について 3 施設への要望 4 改善点	
	調査結果	1 会員経過年数（平均）約9年 2 興味があることを安価でできる。自分の能力を知ることができる。談笑していると気分転換になる。 3 より多く作品を発表する機会が欲しい。 4 水道管の漏水に対し、応急処置だけでは不十分である。		
	要望・苦情等	1 多くの会員は入会年数が長く、施設を生きがいつくりの場として活用している。		
	苦情・改善要望等	1 木工部の部員増加により、機械の稼働率が高くなることで、修繕費が多くなることへの懸念。 2 水道管の漏水に対し、応急処置による対応だけでは不十分である。 3 令和2年度・3年度の豪雪のため屋根の軒が変形したことによる雨漏りが心配。		

6 総合評価

評価区分	評価	総合評価
1 施設の利用状況	4	<h1>3</h1>
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
2 経費等の状況 (行革効果)	3	
3 事業の実施状況	3	
4 業務の実施状況	3	
①施設の維持管理	3	
②サービスの向上	3	
③危機管理対策	3	
5 利用者評価	3	
評価理由	<p>・高齢者の閉じこもりを 방지、生きがいつくりと創作意欲の高揚に貢献している。積極的な行事参加や活動が新聞で紹介されるなど、高齢者が地域から評価される機会にもなっている。</p> <p>・アンケートを実施し、利用者の意見や要望を取り入れながら運営にあたっており、指定管理者として適切な事業管理にあたっている。</p> <p>・安全講習の実施、避難訓練の実施、緊急時連絡網の作成など、事故等に対する防止及び発生時の対応に備えて運営を行っている。</p>	

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	新規会員の加入促進	奥州市老人クラブだよりの一面に創作館の活動内容の様子や会員募集欄を設けて、新規会員への加入促進を図る取り組みを行った。	施設の老朽化による破損対策及び新型コロナウイルス感染防止

令和3年度指定管理者評価調書

施設所管課	江刺総合支所健康福祉グループ	評価者職氏名	グループ長 佐藤裕恵	評価日	令和4年6月6日
-------	----------------	--------	------------	-----	----------

施設名称	江刺高齢者生産活動センター	施設所在地	江刺地域
指定管理者名	社会福祉法人奥州市社会福祉協議会	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	高齢者の経験や技術を生かした就業機会の増大を図り、その生きがいを高めるため、高齢者の生活活動を総合的、機能的に推進し、山村地域の振興に資する。	指定管理料の有無	有
施設概要	ロビー（展示室）、竹加工室、木工室、食品加工室、陶器室、休憩室、事務室等	指定管理料の区分	指定管理料のみ

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	R2利用実績(人)	R3利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	江刺高齢者生産活動センター	1,233	1,370	1,370	1,188	86.7	
(計)	1,233	1,370	1,370	1,188	86.7		
〔利用者の増減理由〕							
昨年度同様新型コロナウイルス蔓延による1か月（2月）の活動休止や、3密を避けることが浸透したことにより1回あたりの参加人数が減少したため、昨年度より減少に転じた。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R3年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R3年度決算額		市直営決算(H17年度)			
収入	指定管理料	5,768,000		5,768,000	歳入	使用料		使用料		
	利用料金			0		賃貸料		賃貸料		
	自主事業			0		その他		その他		
	雑収入	140,028		140,028						
	計	5,908,028	0	5,908,028		計(A)	0	計(A)	0	
	支出	人件費	4,483,929		4,483,929	歳出 ※経常的	指定管理料	5,768,000	人件費	
		需用費	451,078		451,078		委託料	108,000	委託料	6,150,900
		役務費	90,726		90,726		需用費		需用費	
		委託料	479,739		479,739		その他		その他	
		使用料・賃借料	17,983		17,983		計(B)	5,876,000	計(B)	6,150,900
租税公課		379,573		379,573	歳出 ※臨時的	支出(B-A)	5,876,000	支出(B-A)	6,150,900	
その他諸費		5,000		5,000		維持修繕費	218,900	維持修繕費		
						備品購入費		備品購入費		
						計(C)	218,900	計(C)	0	
計		5,908,028	0	5,908,028		支出(B+C-A)	6,094,900	支出(B+C-A)	6,150,900	
損益	0	0	0							

職員配置	常勤職員	0人	市の正職員	0人
	非常勤職員	3人	市の臨時・非常勤職員	0人

利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額	
			0	

指定管理者人件費率	人件費(賃金等) / 指定管理者事業支出	75.9%	R3年度指定管理者損益	0円	評価
-----------	----------------------	-------	-------------	----	----

利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料 / 利用者数	4,855.2円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	3
----------------	--------------	----------	------------------	----	---

行革効果	〔指定管理による行革効果〕	〔行革効果額〕 274,900円			評価
		〔行革効果額の積算根拠〕			
	本制度の導入により、円滑に事業運営及び施設管理が図られた。 あわせて、人件費や管理費用等の運営経費の圧縮が図られた。		R3	R2	比較
		直営支出額	6,150,900	6,150,900	0
		市支出額	5,876,000	5,886,000	△ 10,000
効果額		274,900	264,900	10,000	

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	使用の許可に関する業務、施設及び設備の維持管理に関する業務、仕様書に定める業務	○		3
自主事業	作品販売 研修視察の実施 陶芸教室	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確に修繕が行われ、維持管理が図られていた。小修繕はスタッフによる作業を行い経費の削減に努めている。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	定期点検は実施せず、異常がある際に業者へ依頼している。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	活動日に業者委託により実施。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	省エネに努め、適正な使用と認められた。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	利用者及び職員のケガや事故のため施設賠償保険に加入している。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	職員、委託により定期的に実施されている。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	公平性は確保されている。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	「社協だより」や「市広報」等においてPRを実施している。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	トラブル等もなく問い合わせにも適正に対応している。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	マニュアルにて対応することとしているが、苦情は出ていない。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	老人クラブを中心に体験学習を開催することにより、その後の利用に繋がっている。	○	
施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月の報告を確認した。	○		
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	奥州市社会福祉協議会個人情報保護規定に基づき適正に実施している。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検を実施。消防計画を策定し、火災予防に取り組んでいる。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	職員による施錠管理をしている。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	マニュアルを策定し、事故発生時の対応に備えている。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	マニュアルを策定し、災害発生時の対応に備えている。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	消防計画に基づき実施している。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	無	評価
		調査内容	実施はしていないが、申し出や要望等について随時受けられる体制をとっている。	
		調査結果		
	要望・苦情等	良好とする評価	マニュアルにて対応することとしているが、苦情は出ていない。	
		苦情・改善要望等		
				3

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	2	3
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	3	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用実績が減少に転じたもののコロナ禍による外出を控える高齢者が多く、新規会員を増やしたことは大いに評価できる。 ・ 小規模な施設修繕は、スタッフの作業により行うなど、経費の削減に努めている。 ・ 施設の特性を生かした自主事業の取り組みは、「高齢者の生活活動を総合的、機能的に推進し、山村地域の振興に資する」という施設の目的に貢献している。 	

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	特になし		特になし

令和3年度指定管理者評価調書

施設所管課	前沢総合支所市民福祉グループ	評価者職氏名	グループ長 菊池 利和子	評価日	令和4年6月23日
-------	----------------	--------	--------------	-----	-----------

施設名称	まえさわ介護センター	施設所在地	前沢 地域
指定管理者名	社会福祉法人 つつじ会	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	居宅における介護を支援する。（通所介護事業・短期入所生活介護事業・居宅介護支援事業・障害福祉サービス事業）	指定管理料の有無	有
施設概要	デイサービスセンター、ヘルパーステーション、在宅介護支援センター、厨房、ショートステイ居室（30床）等	指定管理料の区分	指定管理料＋利用料金

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	R2利用実績(人)	R3利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	通所介護事業		6,914	7,314	7,510	7,869	
短期入所生活介護事業		8,067	8,614	9,349	9,027	96.6	
	(計)	14,981	15,928	16,859	16,896	100.2	
[利用者の増減理由] 前沢地域以外の送迎も可能な限り対応し新規利用者や臨時利用者の受入れを積極的に行い、空き状況等についてケアマネージャーに定期的に情報提供を行ったが、短期入所は長期利用者の施設入所、死亡等により前年より実績が伸びなかった。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R3年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R3年度決算額		市直営決算(H25年度)			
収入	指定管理料	7,000,000		7,000,000	歳入	使用料		使用料	0	
	利用料金	190,717,474		190,717,474		賃貸料		賃貸料	0	
	自主事業			0		その他	12,971,622	その他	20,900	
	雑収入	47,025,869		47,025,869				事業収入	169,246,258	
	計	244,743,343	0	244,743,343		計(A)	12,971,622	計(A)	169,267,158	
	支出	人件費	139,641,532		139,641,532	※経常的 歳出	指定管理料	7,000,000	人件費	134,271,603
		需用費	19,800,303		19,800,303		委託料	2,591,519	委託料	24,731,192
		役務費	1,294,332		1,294,332		需用費	9,423,751	需用費	19,448,097
		委託料	27,960,347		27,960,347		その他	1,295,082	その他	6,574,810
		使用料・賃借料	5,424,665		5,424,665		計(B)	20,310,352	計(B)	185,025,702
租税公課		25,000		25,000	※臨時的 歳出	支出(B-A)		7,338,730	支出(B-A)	15,758,544
その他諸費		4,712,907		4,712,907		維持修繕費	2,449,211	維持修繕費		
						備品購入費	0	備品購入費	1,001,070	
計		198,859,086	0	198,859,086		計(C)	2,449,211	計(C)	1,001,070	
損益	45,884,257	0	45,884,257	支出(B+C-A)		9,787,941	支出(B+C-A)	16,759,614		

職員配置	常勤職員	29 人	市の正職員	4 人
	非常勤職員	16 人	市の臨時・非常勤職員	48 人

利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額
	190,717,474		190,717,474

指定管理者人件費率	人件費(賃金等) / 指定管理者事業支出	70.2 %	R3年度指定管理者損益	45,884,257 円	評価
-----------	----------------------	--------	-------------	--------------	----

利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料 / 利用者数	414.3 円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	3
----------------	--------------	---------	------------------	----	---

行革効果	[指定管理による行革効果]	[行革効果額]	8,419,814 円			評価
	指定管理前と比較すると行政効果は表れているが、業23年が経過した施設であることから、行政効果額には反映されない維持修繕費等の臨時的費用の増加が今後も見込まれる。	[行革効果額の積算根拠]				
			R3	R2	比較	
		直営支出額	15,758,544	15,758,544		0
		市支出額	7,338,730	7,785,647		△ 446,917
効果額	8,419,814	7,972,897		446,917		

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設を適正かつ円滑に管理すること。 指定管理者が有する能力を活用しつつ、地域住民等に対する福祉サービスの効果及び効率を向上させ、もって地域の福祉の一層の増進を図ること。	○		2
自主事業	介護センターまつりの開催	△	新型コロナウイルス感染防止のため開催できなかった。	

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	保守・点検業務の委託により、適切に管理が行われている。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	保守・点検業務の委託により、適切に管理が行われている。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	法人職員で清掃業務を行っている。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	蛍光灯を間引きし、こまめに消灯する等、節約に努めている。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	介護保険・社会福祉事業者総合保険への加入を確認した。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	隣接する市の管理施設と合わせ、共同管理を行っている。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	公平中立なケアマネジメントの確保に関する説明を行っていることを確認した。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	広報誌を定期的に発行し、家族・関係機関へ配布していることを確認した。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	各部署の責任者を中心に適切な対応がされていることを確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	各部署から施設長へ速やかに報告され、迅速な対応がされていることを確認した。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	毎年実施している介護センターまつりについては開催できなかった。	新型コロナウイルス感染防止のため。	
施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月の報告を確認した。		○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	基本協定書第17条及び独自の基本規定等に基づき適切に実施されている。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	点検業務の委託により、適切に管理が行われている。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	休日及び夜間についても日直当直により安全が確保されている。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	初期対応や家族への連絡が適切に行われており、報告書を作成して情報共有し、再発防止に努めている。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	防災計画書及び緊急連絡網が整備されている。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	複合施設であることから隣接施設との合同訓練を実施した。水害想定避難訓練については職員で実施した。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	3
		調査内容	送迎時間やサービス提供時間について、入浴について、職員やデイサービスの雰囲気について、各種活動について 等	
		調査結果	どの項目についても良い評価を頂いた。提供時間については一部の家族より、農繁期はもう少し遅い帰宅の方が良いとの意見があり、今後の課題として検討する。	
	要望・苦情等	良好とする評価 コロナ対策と人員不足により定期的な提供は困難であったが、可能な範囲で様々な活動を提供し、気分転換に努めている。日々のレクでは、内容が工夫され楽しく活動しており、入浴でも菖蒲湯やゆず湯等で季節毎の行事を楽しむことができている。また、コロナ対策で支援が困難となった県外の家族等と連携を図り、サービス提供を充実させた。		
		苦情・改善要望等	コロナ対策としてのマスク着用・パネル設置等について理解いただけない利用者もあり対応に苦慮した。	

6 総合評価

評価区分	評価	総合評価
1 施設の利用状況	3	<h1>3</h1>
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
2 経費等の状況 (行革効果)	3	
3 事業の実施状況	2	
4 業務の実施状況	3	
①施設の維持管理	3	
②サービスの向上	3	
③危機管理対策	3	
5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・利用実績全体で前年対比0.2%増に留まったが、通所介護事業では土曜日も営業日としたこと、新規利用者や臨時利用者等を積極的に受け入れる等、利用率を上げる努力は評価できる。 ・指定管理者損益は45,884,257円となったが、指定管理者本体からの将来的な補填分であり翌年度に繰越となる。今年度の事業活動による収支に限ればマイナスとなるが、経費の削減に努めていることは評価できる。 ・利用者アンケートを実施し、更なる職員の資質向上と利用者のニーズに応じたサービス提供することで満足度アップに向けて努力している。 ・施設は築23年が経過し、経年劣化に伴う修繕等の経費増加が懸念される。 	

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	適切な施設管理を継続して行う。利用者アンケートの実施。更なる職員の資質向上と個々のニーズに応じたサービス提供。	職員不足でありながらも各部署間で業務応援をしながら、さまざまな工夫を凝らして稼働率向上に取り組んだ。施設は築23年が経過していることから修繕箇所や消耗機器備品等の経費増加により損失が生じているが、各部署で経費削減とサービス向上に向けた取組みを積極的にを行い、利用者の満足度アップに向けて努力している。	適切な施設管理の継続。短期入所においても利用者アンケートを実施し、より良いサービスの提供、職員の資質向上を目指す。

令和3年度指定管理者評価調書

施設所管課	胆沢総合支所健康福祉グループ	評価者職氏名	グループ長 吉田 悦子	評価日	令和4年6月27日
-------	----------------	--------	-------------	-----	-----------

施設名称	胆沢高齢者総合福祉施設めくもりの家	施設所在地	胆沢地域
指定管理者名	社会福祉法人奥州いさわ会	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	高齢者福祉サービスを提供する	指定管理料の有無	無
		指定管理料の区分	利用料金のみ
施設概要	特養ホーム50床、短期入所施設10床、デイサービスセンター40人、認知型高齢者グループホーム9床		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	R2利用実績(人)	R3利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	特養(50床)、グループホーム(9床)	59	58	59	59	100.0	
短期入所(10床)	3,701	3,754	3,606	3,561	98.8		
(計)	3,760	3,812	3,665	3,620	98.8		
[利用者の増減理由] 短期入所施設の利用者が引き続き減少している。新型コロナウイルスが春に病院や類似施設で発生した際、短期入所だけでなくデイサービスでも利用を控える方がかなり出た。家族の外出目的の利用が少なかったことも引き続き影響していると思われる。							

2 経費等の状況

	R3年度指定管理者収支				市の収支						
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R3年度決算額		市直営決算(H17年度)				
事業収支 (単位:円)	収入	指定管理料			0	歳入	使用料		使用料		
		利用料金	528,016,303		528,016,303		賃貸料		賃貸料		
		自主事業			0		その他		その他		
		雑収入	4,166,384		4,166,384						
		計	532,182,687	0	532,182,687		計(A)	0	計(A)	0	
	支出	人件費	349,653,791		349,653,791	※経常的 歳出	指定管理料	0	人件費		
		需用費	72,006,517		72,006,517		委託料		委託料		
		役務費	2,735,623		2,735,623		需用費		需用費		
		委託料	32,402,170		32,402,170		その他		その他		
		使用料・賃借料	6,568,698		6,568,698		計(B)	0	計(B)	0	
		施設設備費	1,980,000		1,980,000		支出(B-A)	0	支出(B-A)	0	
		その他諸費	14,859,979		14,859,979		※臨時的 歳出	維持修繕費	14,729,000	維持修繕費	
								備品購入費		備品購入費	
計	480,206,778	0	480,206,778	計(C)	14,729,000	計(C)	0				
損益	51,975,909	0	51,975,909	支出(B+C-A)	14,729,000	支出(B+C-A)	0				

職員配置	常勤職員	54人	市の正職員	0人
	非常勤職員	55人	市の臨時・非常勤職員	0人

利用料金実績 (単位:円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額
	528,016,303		528,016,303

指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出	72.8%	R3年度指定管理者損益	51,975,909円	評価
-----------	--------------------	-------	-------------	-------------	----

利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数	円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	3
----------------	------------	---	------------------	----	---

行革効果	[指定管理による行革効果]	[行革効果額]	0円	評価		
	当初から公設民営化の手法により運営しており、指定管理制度導入以降、修繕以外負担は生じない。	[行革効果額の積算根拠]			3	
			R3	R2		比較
		直営支出額	0	0		0
		市支出額	0	0		0
効果額	0	0	0			

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	胆沢高齢者総合福祉施設めぐもりの家の管理運営	○		3
自主事業	(1)地域住民と施設利用者のふれあい交流の場を目指す健康フェスティバルと連携したイベントの開催 (2)地域に密着した独自のふれあい交流事業の実施 里孫交流活動、七夕まつり	×	(1)及び(2)については新型コロナウイルス感染症対策のため実施できなかった。	

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
①施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確に修繕が行われ、維持管理が図られていた。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者による保守、点検が行われていた。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	報告書により、的確に行われていることを確認した。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	デマンド監視装置を設置し使用電力の節減に努めていることを確認した。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	介護保険・社会福祉事業者総合保険への加入を確認した。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	専門業者による樹木等の管理が行われていた。	○	
②サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	報告書により、利用者の公平性の確保が図られていることを確認した。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	広報を活用して周知を図ったことを確認した。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	窓口等でのトラブルは丁寧な対応がとられていることを確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情や問い合わせに対し、迅速な対応がとられていることを確認した。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	計画していた外部との交流事業は実施できなかったが、施設の行事を実施した。	新型コロナウイルスの感染症対策のため	
施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	協定書に従い報告を受けている。		○	
③危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報に関する基本方針に法に、適切に実施していることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	報告書により、利用者の安全を確保していることを確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が適切に行われていたことを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	対応マニュアルを確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	避難訓練を2回実施したことを確認した。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	3
		調査内容	利用者とその家族に対するアンケート(回答率: 138/318人、43.4%)	
	調査結果	<ul style="list-style-type: none"> ・殆どどの質問で過半数以上が「満足」、「普通」という回答であった。 ・「広報やまゆり」に対する評価のみ低い傾向にある。 ・入所家族からのオンライン面会に対する評価も「満足」の回答が過半を超えた。 		
	要望・苦情等	<p>良好とする評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お忙しい中いろいろな意見を取り入れていただきありがとうございます。 ・毎月の「おたより」の中の本人の楽しんでいる笑顔に安心しています。 ・精神面、体の負担がデイ・ショート利用で軽減されて助かっています。 <p>苦情・改善要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たまに不親切な電話対応の方があった。 ・窓越し・オンライン面会は声が聞こえにくい。 ・迎えの時間が1時間以上遅かった時がありました。 		

6 総合評価

評価区分	評価	総合評価
1 施設の利用状況	3	<h1>3</h1>
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
2 経費等の状況 (行革効果)	3	
3 事業の実施状況	3	
4 業務の実施状況	3	
①施設の維持管理	3	
②サービスの向上	3	
③危機管理対策	3	
5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者として適切な事業運営に当たっているものと評価する。 ・利用者とその家族からの職員や施設に対する信頼は、アンケートの共通事項の職員の接遇や施設の雰囲気に対する質問で過半数が「満足」しているとの結果がでており、評価できる。 ・職員研修に力を入れておりその点も評価できると考える。 	

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	【※昨年未記載】 人材育成・確保	臨時職員の資格所得に向けた環境づくりを行い、資格取得者が出た	法人内事業所の取組連携

令和3年度指定管理者評価調書

施設所管課	衣川総合支所市民福祉グループ	評価者職氏名	グループ長 千田 福子	評価日	令和4年6月17日
-------	----------------	--------	-------------	-----	-----------

施設名称	瀬原交流館	施設所在地	衣川 地域
指定管理者名	瀬原交流館運営委員会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	地域の高齢者に対し、宅老事業を実施することにより社会的孤立感の解消を図るとともに、地域住民との世代を超えた交流を図る。	指定管理料の有無	無
施設概要	多目的ホール（和室）、小ホール（和室）、調理室、多目的室（洋室）、図書室	指定管理料の区分	利用料金のみ

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	R2利用実績(人)	R3利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	利用者数		1,109	910	319	196	
							3
	(計)	1,109	910	319	196	61.4	
[利用者の増減理由] 今年度においては、新型コロナウイルス感染症対策によりイベント実施及び施設利用の自粛要請がされた影響により利用者減が顕著であった。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R3年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R3年度決算額		市直営決算(H17年度)			
収入	指定管理料	0		0	歳入	使用料	0	使用料	0	
	利用料金	900		900		賃貸料	0	賃貸料	0	
	自主事業	0		0		その他	0	その他	0	
	雑収入	170,304		170,304		計(A)	0	計(A)	0	
	計	171,204	0	171,204						
	支出	人件費	0		0	※経常的 歳出	指定管理料	0	人件費	0
		需用費	171,204		171,204		委託料	0	委託料	180,000
		役務費	0		0		需用費	0	需用費	0
		委託料	0		0		その他	0	その他	0
		使用料・賃借料	0		0	※臨時的 歳出	計(B)	0	計(B)	180,000
租税公課		0		0	支出(B-A)		0	支出(B-A)	180,000	
その他諸費		0		0	維持修繕費		0	維持修繕費	0	
計		171,204	0	171,204	備品購入費		0	備品購入費	0	
損益	0	0	0	計(C)	0	計(C)	0			
				支出(B+C-A)	0	支出(B+C-A)	180,000			

職員配置	常勤職員	0 人	市の正職員	0 人
	非常勤職員	0 人	市の臨時・非常勤職員	0 人

利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額
	900	0	900

指定管理者人件費率	人件費(賃金等) / 指定管理者事業支出	%	R3年度指定管理者損益	0 円	評価
-----------	----------------------	---	-------------	-----	----

利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料 / 利用者数	円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	3
----------------	--------------	---	------------------	----	---

行革効果	[指定管理による行革効果]	[行革効果額]	180,000 円			評価	
		[行革効果額の積算根拠]					
			R3	R2	比較	3	
		指定管理導入前は年間180,000円で管理委託していたが、指定管理導入後、現在は指定管理料無しの取り扱いとし、市の財政面で効果があった。	直営支出額	180,000	180,000		0
			市支出額	0			0
		効果額	180,000	180,000	0		

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設の使用許可に関する業務、施設の使用に係る利用料金の收受・減額又は免除・還付に関する業務、施設等の維持管理に関する業務、仕様書に定める業務	○		3
自主事業	地域住民活動（婦人会親睦活動、子ども会活動、高齢者サロン活動、三世代交流会など）	△	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、予定していた三世代交流会を中止した。	

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	適時点検がなされた。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	随時、目視点検や試運転を行い適切に管理されている。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	使用後の掃除に加え、年3回(5月、9月、12月)の全館清掃が行われた。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	館内掲示等で利用者にも節水・節電の協力を求め、省エネに努めていることを確認した。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	賠償責任保険（自治会保険）に加入していることを確認した。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適宜、環境整備がなされていた。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適切に執行されていることを確認した。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	集まりの場での口頭PRとチラシの班回覧等により周知を図ったことを認めた。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	トラブル等は特段なく、適切な対応を確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	利用者からの苦情はなかった。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	施設設置目的に適した地域活動を実施したが、一部事業が実施できなかった。	△	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	定期的な報告がなされた。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	適正に個人情報の管理がなされていることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	消火器の設置のみ(任意)	○	
	警備業務の実施(機械警備含む)	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保			
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応マニュアルを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、災害時の対応を確認した。	○	
	避難(救助)訓練の実施	避難訓練の実施	消防署と協議し、避難訓練を中止した。	△	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	無	評価 3
		調査内容	—	
		調査結果	—	
	要望・苦情等	良好とする評価	なし	
		苦情・改善要望等	なし	

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	3	3
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	3	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の財産として、地域交流を取り入れた利用がされており、今後の取り組みにも期待できる。 ・地域に密着しているため、使用許可申請の受付及び許可業務及び施設管理等の対応は迅速であり、評価できる。 ・実質的に地元の集会施設であり、改めて利用促進を呼びかける必要性は薄い。 	

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	特になし		特になし